

事業所名 ※ グループホーム 夢

日付 平成 21 年 11 月 21 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 健康運動指導士
実務経験10年以上

高齢者福祉・医療における
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る ※

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!) ※

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

市街化の進む都市近郊にあって、近くにはマスカットなど、ぶどうを栽培するハウスが見られ、農家が多い地域でもある。そんな地域に支えられ、地域の方々がホームの行事やお祭り毎には積極的にサポートしてくれたり、町内の秋祭り等に招待してくれたり、良いバランスが保てている。

ホームのすぐ前を通る国道を隔てて反対側には、国道に沿うように2級河川(笹が瀬川)が流れ、天気の良い日には、川の土手を車椅子の方も一緒に職員と散歩している。その川の両岸には葦が生い茂り、春はウグイス、夏はホトギスの声が聴かれ、また、冬は鴨などの渡り鳥も飛来する。そんな自然に親しむことができる環境があり、外出した際には入居者から笑顔も垣間見られるようである。

家族会が発足してから6年。年間行事等も家族会の意見を取り入れながら、自主的に行ってくれたり、管理に回ってくれたりして、職員と密な関係が出来ている。また、遠方の家族の方や入居状態等が気になる方にも、日常の様子などをリアルに伝えるためにライブカメラを通ずることで、家族との信頼関係作りに一役加っており、よりスムーズな関係になっている。

事業所の敷地は広く、じゃがいもなどの野菜畑もあり、入居者と一緒に担当職員を決めて収穫を行っている。建物の中は天井が高く開放感がある。また、大きなガラス窓や天窓があって室内を明るく照らしている。

夢では、医療連携している医院と相談しながら、看取りのケアも行っており、24時間通して対応できる体制があり、緊急時にも対応している。若い職員も入り、幅広い層の中で職員はケアカンファレンスの記録やグループ施設での勉強会や研修会等を通じて、意見交換や問題定義しながら質の向上に取り組んでいる。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

美しい川の畔の四季を眺めながら散歩するには最適な環境であり、貴重な資源をもっと活用してほしい。交通量の多い国道を横断し、川の土手へ行かなければならないリスクが付随しているが、家族の方々やボランティアの人達に手伝ってもらえば、職員の負担も軽減することができ、さらに外出できる機会が増えるのではないと思う。また、地域の住民に現状を理解してもらったうえで、自治体に信号を設置してもらうよう要望することも検討に値すると思う。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	毎食後の歯磨きや言葉かけなど、職員の都合だけで行うのではなく、入居者の立場に立ち、笑顔で信頼関係を築くことが大切であり、「お手伝いをさせていただいている」という気持ちを持って職員は入居者に接し、入居者が現在持っている能力を維持させて、家庭的でのんびり過ごせるようなグループホームを目指している。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	職員は入居者との信頼関係を築くことを目標に日々取り組んでいる。一日一回は必ず言葉をかけ、何らかの関わりを持つようにしている。ホームにおける生活上の役割を担ってもらい、命令口調にならないよう、また、何回も同じことを言わないよう、特に新人の職員には入居者に優しく明るく接するように指導している。		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		○
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	居室の入口を開放する時に、カーテンなどで遮蔽したり、徘徊癖のある入居者が他の入居者の居室に入るのを防ぐために、入居者本人の了承を得て、鍵をかけてもらったりすることもある。また、入居者の個人情報をも他の入居者の前で口外しないよう職員は周知徹底している。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	感染症に関する勉強会を行ったり、グループの事業所と合同で新人研修を開催したりしている。また、グループホーム協会が主催する研修会にも積極的に職員は参加している。		